

福岡市

私たちのまちの話題を紹介します

第7号

平成23年4月1日
発行

○発行／福岡市民局コミュニティ推進課 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号 TEL733-5161 FAX 733-5595
○協力／福岡市自治協議会等7区会長会

城南区長尾校区自治協議会

地域ぐるみの「はぐくみネット」

～子どもたちといろいろな行事に取り組んでいます～

当協議会は、正月の「どんど焼き」に始まり師走の「歳末もちつき」まで年間を通して、子どもから高齢者の皆さんまで一緒に楽しめるように多彩な催しを実施しています。そのなかでも、「はぐくみネット」は将来の長尾校区、否、日本を背負って立つであろう子どもたちが“主役”。長尾校区子ども育成会が主唱し、公民館や校区社会福祉協議会をはじめ、各種団体が協力して平成20年度から活動を継続しています。今回は、はぐくみネットで実施した数々の行事の中から3つを紹介します。

まず、夏休みの恒例行事として実施している「親子人権学習会とソーメン流し」です。地域の皆さんと一緒に、遊びを通して友だちの大切さや優しさ、仲間作りを楽しく学ぶ親子人権学習を行った後、ソーメン流しを楽しみました。昨年度は、140人ほどの参加があり、約12kgのソーメンがあつという間になくなりました。

次は「子ども夏祭り」です。この行事は平成22年度が初めての試みで、企画から運営まですべて子どもたちが考えて実施しました。大人では思いもつかないような子どもたちの発想力や行動力に驚かされました。

最後は、子どもたちの厄除けのための「豆&餅まき会」です。季節の行事を地域の人と一緒に楽しみながら交流を図ることができました。

これらすべての行事に地域の方々が大勢参加され、子どもたちとの交流が図れたこと、そして子どもたちの笑顔と「楽しかったあ！」の一言が何よりの収穫でした。



ソーメン流し
「前で取ってしまわないで!!」「もっと流してよ!!」
※平成22年7月31日長尾公民館の中庭にて



子ども夏祭り
「スライム作りは初めて!!」「ああして!こうして、そうそう!!」
※平成22年8月8日長尾公民館の中庭にて



豆&餅まき会
「こっちにもまいてよ!!」
※平成23年1月30日長尾公民館のグラウンドにて



地域の情報は次のページにも掲載しています

2011年を元気にしてスタート! ～博多区南部6校区新年子ども会交歓会～

平成23年1月16日、博多区の南部に位置する那珂、弥生、板付、板付北、那珂南、三筑の6校区の子ども会の2011年が、恒例の博多区南部6校区新年子ども会交歓会でスタートしました。この催しは、校区間の交流を深めるため、毎年持ち回りで開催され、年始行事として定着しています。参加者は、それぞれの校区の5・6年生を中心とする約200名。底冷えのする寒い日でしたが、みんな元気良く集まりました。

今年の当番校区は、弥生校区子ども会でした。1年に1回のこの機会をどのように盛り上げようかと知恵を絞り考えた今年の催しは、輪投げによるグラ



ウンドゴルフ。5人1組でチームを組み、弥生小学校グラウンドに作られたコ

ースを廻りました。当日は風が強く、“ライン読み”ならぬ風向きを読んで



輪を投げましたが、あらぬ方向に輪がそれては苦笑い。育成会のお父さん、お母さんたちがゲームの行方にどきどきしながら見守る中、子どもたちは競い合いながらも和気あいあいに楽しんで、会場は校区を越えての和やかな雰囲気に包まれました。

ゲーム終了後は、弥生校区子ども会育成連合会のスタッフが腕をふるつた、愛情たっぷりの豚汁で心も体も暖まりました。中には5杯もお代りしたツワモノも…。

「来年は板付校区で会いましょう」

この合い言葉を胸に、子どもたちはそれぞれの校区へと家路につきました。

中央区平尾校区自治連合会

住民の目線を大切に新たな取り組み

当校区は、31町内で人口21,000人を超す校区です。運営のマンネリ化を防ぎ、住民に必要な事業の実施とその充実を目指して、平成21年度からの運営について新たに3つの挑戦を始めました。それぞれの取り組みが相乗効果をもたらし、さらに事業が充実しつつあります。

◎監査委員会の設置

「住民からいただく町内会費と、市補助金を最大限効果的に活かすこと」を目的に、どの団体にも属していない住民4人による監査委員会を21年度に設置し、予算の配分や執行状況、事業内容について半期ごとに監査します。校区の会計ルールは全26の団体長と会計が一堂に話し合って決め、監査結果は町内会長会にも報告します。



◎各団体代表者の専任化

人材確保がむずかしく、一人で複数の団体長を兼任する状態でしたが、22年度から一人一役を徹底し、「効果の薄い事業を廃止、必要な事業は工夫して深める」を合言葉とし、徐々に各団体の事業の充実化を図っています。

◎広報の充実を図る

22年10月から、公民館だよりの裏面に「ひらおニュース」を発行しています。各団体から毎月25日までに出された原稿を編集しますが、最近は事業の予告や実施後の報告など、記事量が増えてきたことや、もっと多くの住民に広報したいため、インターネットによる広報も検討しています。



イベントなら何でもござれの“特別事業部会”

当協議会は部会制をとっており、交通安全部会、体育振興部会など10部会を設置し、それぞれの事業を遂行しています。

なかでも、各部会が単独では実施しかねる大規模な事業を遂行する部門として「特別事業部会」を設置し、高木フェスタ(夏祭り)、敬老会、校区文化祭、どんど焼き、新年交歓会という恒例行事をはじめ自治協会長からの特命事業などを実施していますが、今回は2つの事業を紹介します。

◎同地名地域間交流

同じ「高木」という地名を持つ朝倉市の高木地区との地域間交流を平成14年から続けており、



毎年6月にはホタルの見物を兼ねて高木地区を訪問し、交流懇親会を開催しています。

また、当校区が開催する高木フェスタや文化祭の時には、高木地区から新鮮野菜や名物のジャンボ焼き鳥の販売などに来て、行事を盛り上げていただいています。

◎桜を惜しむ会

平成23年3月、高木小学校体育館の建て替えに伴い、周りに植えられている



10数本の桜が伐採されることになりました。30年近く豪華に咲き誇り、校区に春の訪れを告げてくれた桜の伐採を惜しんで、自治協会長の発意により「桜を惜しむ会」を開催しました。開催にあたり校区の有志を募ったところ70名が集まり、児童・生徒はもとより、住民を楽しませてくれた桜との名残を惜しみました。

URL一覧

○校区や地域の情報を、福岡市のホームページの各区役所のページに掲載しています。

- 東区(東区>地域情報[校区・公民館]) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashi/hi-chiikijouhou/ichiran.html>
- 博多区(博多区>生活情報>コミュニティ・地域の活動・公民館)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/hakata/ha-seikatsujouhou/comm-chiikkatsudou-kouminkan.html>
- 中央区(中央区>中央区の魅力・観光情報>校区・地域の情報)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/chuo/miryoku-kanko-kankoujouhou/kouku-chiikijouhou.html>
- 南区(南区>南区の魅力・イベント>校区の魅力) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/minami/mi-miryoku-event/koukunomiryoku.html>
- 城南区(城南区>地域・公民館) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/jonan/chiiki-kouminkan/index.html>
- 早良区(早良区>早良区の魅力>校区・地域の情報) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/sawara/sa-miryoku-event/kouku-chiikijouhou.html>
- 西区(西区>生活情報>地域コミュニティ・公民館情報)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/nishi/ni-seikatsujouhou/comm-kouminkanjouhou.html>
- J:COM福岡で放送した地域活動などは、J:COM福岡のホームページでご覧になれます。<http://www.jcomfukuoka.com/tv/weekly/>
- 福岡市コミュニティ通信は、福岡市のホームページに掲載しています。http://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/community/life/001_2.html
(生活情報>コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア>コミュニティ・地域の活動>福岡市コミュニティ通信)

お問い合わせ・地域の情報などはこれらまで



●東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042

●博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735

●中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1060 FAX 714-2141

●南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360

●城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142

●早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680

●西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137

会長さんに
聞く!

私の校区の取り組み

質問
項目

- ①校区の特徴
- ②自治協議会の活動
- ③今後の抱負 など

東区東箱崎校区

東箱崎校区団体協議会

山内 啓徳会長

(東区自治組織会長会 会計監事)



①昭和62年に箱崎校区から分離し、国道3号線に沿った細長い校区です。戸建て住宅は殆どなく、大型高層団地(分譲団地970戸、公団(UR)団地660戸、県営団地580戸)をはじめ、マンション等で占められ、自治会・町内会の規模も大きくなっています。また、校区の半分の一角に九州大学、裏にはJR貨物駅、上空には空港離着陸航路があり、騒音が激しい地域です。
②住民自治を担う自治会・町内会(その連合会)〔横糸〕と独自の目的を持った各種団体〔縦糸〕が、自主、自立、民主の立場で活動し、公民館事業を含め協力し合って取り組むことを基本にしています。主な事業は、国際交流事業、小学校との合同運動会、スクールガード運動、春の健康ウォーク、文化祭、防災センター見学会、九大跡地利用に関する提案の実現などです。各自治会・町内会は、365日生活環境改善をはじめ、様々な問題に取り組んでおり、全体に及ぶ問題は自治会連合会として取り組んでいます。
③防災訓練、夏まつり、もちつき大会など、各自治会・町内会単位で行っており、住民全体に責任を持つ自治会・町内会の活動と各種団体、公民館の活動が織り合わさって発展するよう努めています。

早良区飯倉中央校区

飯倉中央校区自治協議会

大野 博士会長

(早良区地区自治組織連絡協議会副会長)



①国道202号線と263号線に囲まれ
一戸建てが多く閑静な住宅地で、平成元年の飯倉中央小学校開校に伴い誕生した若い校区です。世帯数が約2,300世帯と、早良区の中ではコンパクトな校区で、人口構成は65歳以上が20%以上と早良区の平均17.8%を上回っています。
②子どもの安全と、健全育成については、当校区自治協議会の団体の多数が何らかの形で関わっており「子ども見守り隊」の結成を機に、子ども育成の共通認識に立って、各団体間の連携を強めています。更に活動のネットワークを充実させるため「育みネットワークいいなか」を立ち上げ、校区人尊協が中心となり小、中学校、各PTAと連携し、校区住民を対象とした、人尊協の講演会・研修会等も開催しています。
③昨年、飯倉中央校区の将来をみんなで考える「町づくりを語る会」を立ち上げ、今後、子どもの健全育成、老人福祉の問題、防災・防犯の対応、環境問題等々地域内共通の様々な課題の解決に向かって、校区全体で取り組みます。校区住民の全員が住みよいまちづくりの会員です。

早良区四箇田校区

四箇田校区自治協議会

原 康夫会長

(早良区地区自治組織連絡協議会副会長)



①当校区は、背振山系・清流室見川に囲まれた自然豊かな地です。校区内には8千年的歴史を持つ複合の四箇遺跡群等があり文化的にも豊かな地域です。そのような中にマンモス団地や新興住宅、古くからの住宅が混在し、約9千人が生活しています。
②今重要なことは、住民の気持ちを一つにすることです。当校区では住民アンケートを実施し、いただいた意見を地域づくりに生かすため、
1. 独居老人等の見守り日常化を目指す『支えあう福祉のまちづくり』
2. 自主防災や児童見守り隊の組織化、歩道・公園等危険箇所の改善等を目指すための『安全安心な住み良い心なごむ環境づくり』
3. オーキングや食育を取り入れた健康づくり教室、挨拶励行で知り合いの輪を広げる『健康づくりとふれあいのあるまちづくり』
4. 自治協議会設立で自治の機運が高まり、夏祭り・どんど焼き等主要行事は実行委員が中心になって実施している。
5. 早良区より安全安心まちづくり事業の指定を受け、多数の住民参加により校区内の総点検を行い、環境整備および改善などの活動を行っている。
③これからも様々な活動を通じて住民相互の交流やコミュニケーションを促進し『何時までも住みたくなるまち』を目指して取り組んでいます。

西区壱岐南校区

壱岐南校区自治協議会

藤川 拓生会長

(西区自治協議会会長会副会長)



①昭和50年に壱岐校区から分離した校区で、西区東南部に位置し、世帯数約4,100世帯、人口約10,300人。地下鉄七隈線の要衝である橋本駅を擁し、本年2月には都市高速5号線の福重～堤間が開通しました。
②自治協議会では、児童の登下校時の見守り、青バトによる巡回、自主防災訓練等、13自治会と各種団体が協力して活動しています。校区3大イベントのうち、8月に開催する「いきみないと祭り」は子どもたちの思い出づくりと地域の交流・活性化を目的に実施しており、多くの来場者に感動を与える光の祭典となっています。
③橋本駅周辺地区では大型商業施設の建設をはじめ大規模な開発が進められていますが、隣接する4校区で「橋本駅周辺整備まちづくり連絡協議会」を組織して、関係機関との連携のもと地域が描くまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。大きく様変わりする区域はあるものの、高齢化はますます進行してきます。住民すべてが「安心して暮らし続けられるような校区づくり」に励んでいきたいと思っています。